

# やってみませんか？ 「おうちで読書」ブース出展のススメ



「おうちで読書」とは、家庭で読書の習慣を身に付け、発達段階に応じた読書活動をとおして親子の思いを伝え合い、コミュニケーションを図る取組の合い言葉です。

本をとおした親子の心のつながりは、子どもにとって楽しい経験となり、読書好きの子どもを育てます。「読み聞かせ」は、子どもの情緒や想像力を育て、ことばを覚える機会にもなります。

「読み聞かせ」をとおした親子のコミュニケーションは、基本的信頼感の獲得など子どもの成長の基盤を育みます。親にとっても子どものすてきな表情をとおして、子育ての楽しさを感じるひとときとなります。

一組でも多くの親子に届けたい「おうちで読書」ブース出展  
みなさんも、やってみませんか？



コトバが育つ  ココロが育つ

## おうちで読書

しがのみんなで



わくわく感動する  
気持ちを持つ

# 「おうちで読書」ブース出展でできること



滋賀県教育委員会では、「おうちで読書」を推進するために読書ボランティアをはじめ、市町（図書館）・企業・NPO等と連携し、親子が本に親しむきっかけをつくる取組（ブース出展）に取り組みました。その一例を紹介します。

## 1 「おうちで読書」のブース出展ってどんな取組？



### (1) ショッピングセンターや図書館等と連携して

- ・ ショッピングセンター内の親子で自由に遊べるスペースで、絵本を面展台上に並び、選んだ本を親子で自由に読めるスペースを用意し、読書ボランティアによるお話会（約 15 分間）や読書ボランティアや図書館職員等による個別の読み聞かせ、子育て相談を実施しました。
- ・ 地元の図書館と連携して開催することで多くの本を紹介できました。また、会場内で図書館利用カードを作成して絵本を借りていく姿が見られました。

買い物ついでに立ち寄りでしたが、子どもがお話会に夢中になりました。（参加者）

会場で図書館による利用カードの新規作成や貸出を行うことで、その後の読書活動につなげることができました。（図書館員）



**→ 読書活動継続へのきっかけづくりになります！**

### (2) 幼稚園、保育園の参観日等に図書館と連携して

- ・ 幼稚園の遊戯室等で図書館等の絵本を面展台上に並び、親子で自由に読めるスペースを用意しました。参観の前後の時間を使って、読書ボランティアによるお話会を実施しました。
- ・ 幼稚園にある絵本を親子で自由に読む時間を設定し、絵本の貸出をしました。
- ・ 移動図書館が幼稚園・保育園・こども園等へ行く場合、時間帯を保護者のお迎えの時間帯に合わせ、親子で一緒に絵本を読んだり借りたりすることができるようにしました。



保護者のみなさんにお子さんが本を楽しむ姿を見ていただくことができました。職員にもよい刺激になり、その後の園での取組の広がりも期待できます！（幼稚園園長）

**→ 保護者への読書啓発ができます！**

### (3) 地域・団体等のイベントの機会に

- ・ 地域・団体等のイベント会場に絵本コーナーを設け、来場した親子が自由に読めるようにしました。
- ・ 読書ボランティアによるお話会や個別の読み聞かせ、子育て相談などを実施しました。
- ・ お話会ができない場合でも、参加者に絵本を自由に手に取ってもらい、個別の読み聞かせや子育て相談等に応じる「絵本の広場」を実施しました。

来場された多くの保護者への啓発ができました！（市町職員）

親子で楽しみながら絵本を読みました。  
これをきっかけに子どもとの絵本でのコミュニケーションが増えました。（参加者）



### → **読み聞かせを通した親子のふれあいがうまれます！**

### (4) 子育て広場、子ども食堂、子育て相談会場など親子が集う場で

- ・ 親子が自由に遊んだり交流したりすることのできる場所に絵本を置き、のぼりばた 幟旗を掲げて啓発リーフレットを配りました。



まずは絵本を手にとる環境づくりから！  
絵本を並べて身近に感じてもらいましょう！

### → **無理なく継続的に啓発ができます！**

## 2 実際に参加してみてどうだった？

### 参加した保護者の声

- ・ 子どもが自分で選んだ本で、たくさん質問をしてくれたり、知らなかったことや知っていることを共有することができたりして、親子のコミュニケーションの大切な時間になりました。本の読み聞かせは本当に大事だと思います。これからも続けていきます。
- ・ 読書で心が豊かになる、親子のスキンシップの場になるということを再認識しました。読み聞かせの間も、子どもは私にぴったりとくっつき、リラックスした雰囲気の中で聞いていたように思います。忙しく毎日が過ぎてしまっていますが、少しの時間でも読書をとおして親子のふれあいをしたいなと思いました。



# やってみよう！「おうちで読書」ブース出展



## 1 事前準備

### (1) 打合せ等

- ・市町行政担当者・会場担当者・読書ボランティア等の関係者で事前の打合せをします。共に会場を確認しながら、会場のレイアウトや準備物、当日の流れ、役割分担等について相談しておく、よりスムーズな出展となります。

(目安の時期……実施日から1か月以上前)

- ・会場の使用や関係者の出役に関わって依頼文や申請書等が必要な場合は作成します。(目安の時期…実施日の約1か月前に送付)

### (2) 広報

- ・事前の広報としては、会場ホームページによる広報、報道機関へのプレスリリース、会場や近隣の幼稚園、保育園、こども園等にポスターを掲示することなどが考えられます。



- ・商業施設等での開催では、当日館内放送などによるアナウンスも効果的です。

【ブース出展予告ポスター例】

- ・事前の広報によって集まる親子は、比較的絵本や読み聞かせに興味のある親子であることが多いです。偶然通りかかった親子が「何だろう？行ってみようかな？」と思えるような楽しい雰囲気づくりをすることや、会場の近くを歩いている親子に直接参加を呼びかけることも効果的です。

### (3) 準備物

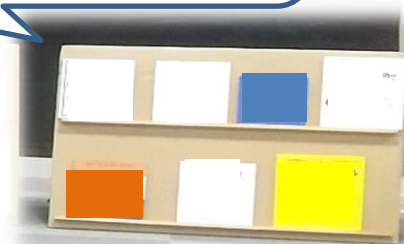
- ・絵本……図書館の団体貸出を活用するなどして準備します。滋賀県生涯学習課の絵本の貸出も可能です。(※1)
- ・面展台…図書館等の協力を得るなどして、絵本の表紙見せをすることができるものを準備します。滋賀県生涯学習課の段ボール製移動式面展台の貸出も可能です。(※2)
- ・敷物……会場によっては、リラックスして座って参加できるように敷物を用意した方がよい場合もあります。滋賀県生涯学習課のジョイントマットの貸出も可能です。(※3)

※1・2・3

絵本と面展台、ジョイントマットについては、いずれも滋賀県庁での受け渡しとなります。貸出希望日を事前に滋賀県生涯学習課（TEL 077-528-4650）にご連絡ください。

面展台

縦 60 cm ・ 横 94 cm ・ 奥行き 21.5 cm  
の大きさのものが8台あります。



ジョイントマット

縦 70 cm ・ 横 70 cm の大きさ  
のものが40枚あります。

- ・ <sup>のぼりばた</sup> 幟旗……会場に掲げることで「おうちで読書」の取組をしていることを効果的にPRすることができます。幟旗の布部分のみであれば、滋賀県生涯学習課から逡送便にて各市町に送付し貸出をすることが可能です。（貸出希望日を事前にご連絡ください。）



ミニサイズの卓上幟旗（令和4年4月以降に各市町生涯学習・社会教育主管課と図書館に1つずつ配布）をブース出展時だけでなく、日常的に市（町）民の目に触れるところに設置することで、さらなる啓発効果が生まれます。

- ・ 参加者配布用として「おうちで読書」啓発リーフレット、子ども読書啓発冊子「えほん いっぱい たのしさ いっぱい」（P8参照）を準備するにあたっては、滋賀県生涯学習課に残部数があれば、各市町に逡送便にて送付が可能です。また、におねっとホームページからダウンロードして、各市町で増し刷りして参加者に配布することも可能です。
- ・ 図書館だよりや家庭教育関係のチラシ等を入口に設置し、参加者に自由に手に取ってもらうことも考えられます。
- ・ その他、マイクや入口に設置する手指消毒液、体温計等、必要に応じて準備をします。

## 2 実施当日

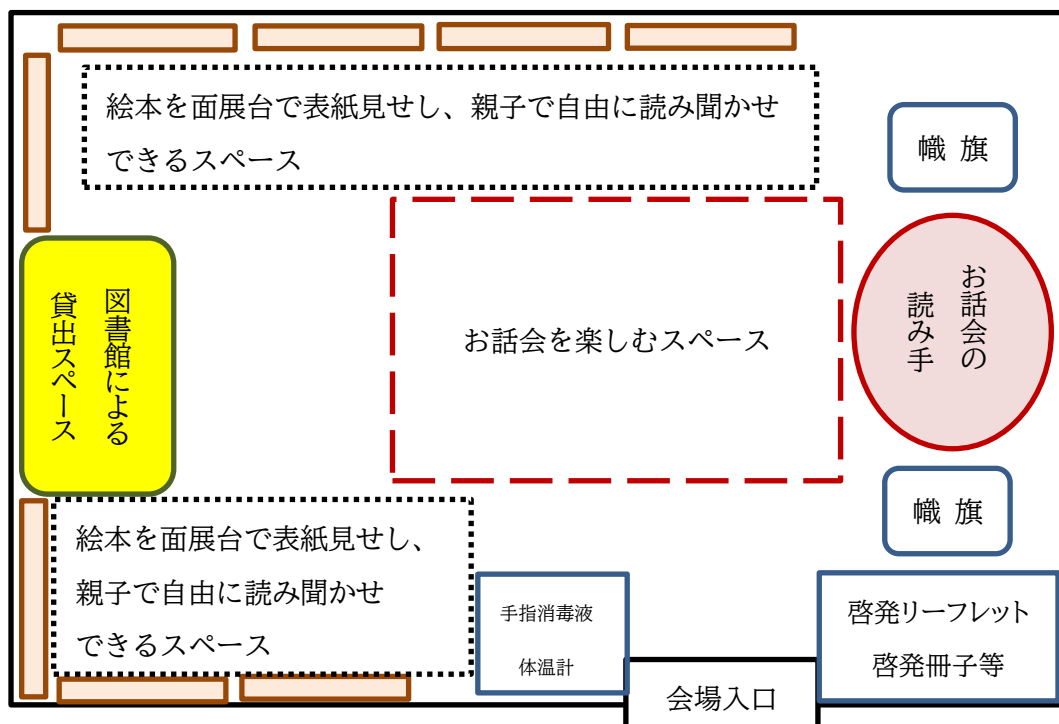
### (1) 当日のタイムスケジュール例

・あくまで例であり、市町の実情に応じて柔軟なタイムスケジュールで実施します。

準備 (1時間)	12:30~13:30	市町行政担当者、読書ボランティア等が会場に到着 物品の搬入、ブース設営、打合せ等
出展 (2時間)	13:30~14:00	○ブース出展開始 <u>親子で読み聞かせ</u> 読書ボランティア等による <u>個別の読み聞かせ</u> 、 <u>子育て相談</u>
	14:00~14:15	☆読書ボランティア等による <u>お話会</u> (お話会の後に「 <u>おうちで読書</u> 」についての説明)
	14:15~14:45	○親子で読み聞かせ 読書ボランティア等による <u>個別の読み聞かせ</u> 、 <u>子育て相談</u>
	14:45~15:00	☆読書ボランティア等による <u>お話会</u> (お話会の後に「 <u>おうちで読書</u> 」についての説明)
	15:00~15:30	○親子で読み聞かせ 読書ボランティア等による <u>個別の読み聞かせ</u> 、 <u>子育て相談</u>
後片付け (30分間)	15:30~16:00	参加者の状況を見ながらブース出展終了 後片付け
振り返り (10分間)	16:00~16:10	次回出展に向けての振り返り

## (2) 会場のレイアウト例

・あくまで例であり、会場に応じて柔軟なレイアウトで実施します。



## (3) 感染症対策

基本的な感染症対策（手洗い、手指消毒、密の回避、換気等）をし、可能な形で実施をします。

### 具体例

- ・会場入口にて検温、手指消毒を実施します。（検温については、施設に入る段階で実施済みの場合もあります。）
- ・参加者が密にならないように、参加人数を制限したり、座る場所を表示したりするなどの工夫も考えられます。
- ・必要に応じてマイクを活用します。（大声を出さなくてよいように）
- ・一斉の読み聞かせができない場合は、参加者に絵本を自由に手に取ってもらい、個別の読み聞かせや子育て相談等に応じる「絵本の広場」という形で実施することも考えられます。



【会場入口でのコロナ対策例】

# これからの「おうちで読書」



## 1 これからも もっと広げていこう！

「おうちで読書」に決まったルールやスタイルはありません。市町に既にある取組に少し工夫を加えることで「おうちで読書」の取組はできます。「おうちで読書」の趣旨に沿った取組を「しがのみんな」で広げていきましょう。

## 2 子ども読書ボランティア研修会と啓発

滋賀県教育委員会では、県事業としての3年間の取組を生かし、市町での取組をサポートするため、引き続き子ども読書ボランティア研修会を開催していきます。研修・交流の場を持つことで、読書ボランティアの育成や「おうちで読書」についての啓発を続けていきます。

自由にダウンロードしてご活用ください！



生涯学習マスコット  
「マナビィ」

におねっと おうちで読書 検索



「おうちで読書」啓発リーフレット  
(滋賀県生涯学習課発行)

- 滋賀県学習情報提供システムにおねっと「おうちで読書」のページに掲載しています。「おうちで読書」の趣旨に沿った取組や「おうちで読書」の啓発のためにご活用ください。



子ども読書啓発冊子

「えほん いっぱい たのしさ いっぱい」

(滋賀県生涯学習課発行)

- 読みたい、読んであげたい絵本の情報がいっぱい！
- 滋賀県学習情報提供システムにおねっと「子ども読書活動支援センター」のページに掲載しています。

※小学校1～3年生向け、4～6年生向け、中高生世代向けもあります。



コトバが育つ ココロが育つ  
**おうちで読書**  
しがのみんな



【問合せ先】 滋賀県教育委員会事務局生涯学習課  
〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号  
TEL 077-528-4650 FAX 077-528-4962  
MAIL ma06@pref.shiga.lg.jp